

【優秀賞】（中国四国農政局長賞）

○ 山内自治振興区米づくり研究会（広島県庄原市）〔環境保全型農業の分野〕

山内自治振興区米づくり研究会は、地域の課題となっていた耕作放棄地や放置された竹林の増加を、竹林の伐採による里山環境整備と竹の廃材を活用した特産品づくりによって解消するため、自治振興区と水稻生産者が一体となり、平成22年に研究会を設立し、取組を始めた。

具体的には、自治振興区内に竹パウダー製造組合及び米づくり研究会を設立し、竹パウダー製造組合では、竹を伐採し、パウダー化して、牛糞と混合・発酵させて竹堆肥を作り、全生産ほ場に散布・活用することにより、化学肥料・化学合成農薬に頼らない、環境に配慮した水稻栽培を実践。また、米づくり研究会では、庄原市役所、庄原市農業指導員、県農業技術指導所、JA庄原、県立広島大学と連携し、栽培技術研究と栽培管理指導を実施している。

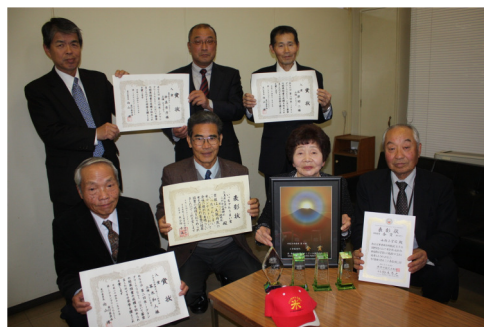
水稻生産者は、エコファーマー認定及び「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証を取得するなど、広島県が推進する「環境にやさしい農業」を実践している。

また、庄原市内の他の2組織及び関係機関とともに「庄原市ブランド米推進協議会」を設立し、米のブランド化を推進している。

当米づくり研究会が生産する米は、食味分析計による食味値とタンパク含有率等をすべての圃場で計測し、品質の向上を図るとともに、新聞やテレビ等による取組紹介の他、HPを開設し、情報発信や商品紹介を積極的に行っている。また、全国の米コンクールやコンテストに参加し、優秀な成績を修めている。こうした積み重ねから、食味値80点以上の「里山の夢」はJA・全農系統での出荷・販売、食味値85点以上の「プレミアム里山の夢」は店頭販売及びネット販売等により販売量を拡大し、生産者及び栽培面積は大幅に増加している。



竹パウダー堆肥の散布



数々のコンテストで入賞